透析中で脊椎の手術(14 日間)を受けられる 説明医師

P1/3

様へ

説明看護師(外来) 看護師(病棟)

						
月日	月 日	月 日	月 日	月 日	月日	
経過	入院日	手術前日	手術当日	術後1日目	2日目	
目標	心身ともに安定した状	態で手術を受けること	ができる	歩行ができる		
検査	手術に必要な検査は 終わっています			がかける 血液検査が あります		
食事		手術前日の21時以降は飲食できません(手術までに食事練習)	飲食できません	朝より食事が始まります		
	朝食は 自宅で 日宅で					
処置・観察	リストバンドを 装着します コルセットの採型 口外来で済み 口作成中のものを使用 口入院後の作成 腰痛アンケートに答 えてください 手術部位の マーキングを します	透析があります	手術後翌朝まで 酸素吸入をします	機能評価を行います疼痛の自己評価を行います(退院まで)	ドレーンを抜きます (状態により早くなる 場合があります)	
点滴	体温・脈拍・血圧 酸素飽和度を 測ります ・ 持参薬、お薬手帳 を看護師にお渡 しください		手術が午後の場合は点滴を行います	が生物質の点滴 を朝1本行います		
· 内 服			手術後、翌朝まで 点滴を行います	鎮痛剤の内服が 始まります		
行動	体位を変える練習を します		看護師の介助で寝返り できます ベッド上で 安静にして ください	べッド上で 座れます 体を拭いて着替えを します (タオルが2枚必要です) 透析日は医師の指示 リハビリが 始まります	室内トイレが 利用できます があります 歩行器を使って 歩行を開始しま す(病棟内)	
説明	医師より説明 ・手術について ・手術とり説明 ・麻酔にり説で ・麻酔にり説明 ・入院生活に ついて 薬剤師より説明 ・持参薬確認 ・内服薬について		医師より ご家族に説明 ・手術結果について	医師より 本人に説明 ・手術結果について		

- * 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください * 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。
- *この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

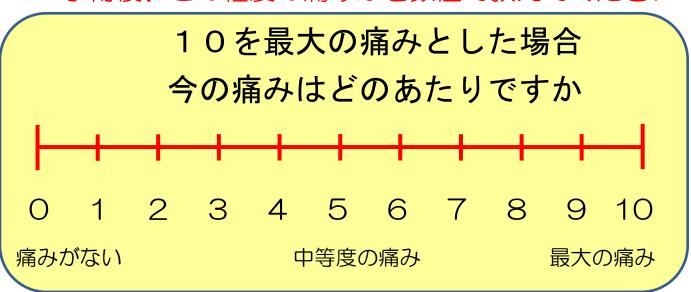
月日	月 日~	月	日	月	日	~ 月	日	月	日
経過	3~5日目	6日目		術後 1 週目 (7 日目)		~10日	目	11日目午前	前退院
目標	歩行ができる							日常生活の注意が理解でき実施で	
検査		透析時に血液検査がありる		グレントゲン があります	·検査				
食事								朝食後に退院	
	創管理開始 (火・木曜日)			機能評価 (知覚検 行います	査) を	機能評価を行		退院時にリス ドを外します	・トバン
. 如 置 · 和	4日目ガーゼを とります	日目ガーゼを							
観 察	体温・脈拍・血 圧・酸素飽和度 を測ります	Ø		P		Ø		0	
点滴	鎮痛剤の内服があります	₽		₽		手術後2週間 内服薬は中止 (痛みに応じて 可能です)	です		
内 服									
,	4日目 シャワーが できます		1:	コルセットの着 ll 分でできるよう 練習します	説が 自			退院となりま	र्
行動				☆ 病院内を 歩けます					
到	*安静度	をリハビリの進	行には	は個人差がありま	すの	で多少の変更	がありま	す	
	歩行器を使って 歩行をします (病棟内)	์ เห้า		ГÅЛ		์ เห้า		์เห้า	
				● 医師より説明 ・検査結果にご	月 ついて			医師よりi ・退院後 につい	の診察
説明						看護師より ・日常生活 ついて	り説明 活に	看護師よ・退院後	り説明 に
-91								ついて 次回受診予約日	
								月	目

手術後の傷の痛みを教えてください

講習を受けた麻酔科医・看護師・薬剤師・臨床工学士で構成された <u>術後疼痛管理チーム(APS)チーム</u>が、患者さんの傷の痛みに対し て、手術前から計画を立て、<u>傷の痛みが軽減するよう</u>取り組んでま いります。

実際の傷の痛みに対して、NRS(Numerical Rating Scale):痛みの評価スケールを使用します。0 から 10 までの 11 段階です。

● 手術後、どの程度の痛みかを数値で教えてください。



APS チームがサポートします。 よろしくお願いします。

